

# 發刊之辭

國防上の見地よりするも將又一國文化の上より見るも航空事業維持發達の必要なるは多く言を俟たざるも我邦航空界の現状は歐米諸國に比して著しく遜色あるを以て之が改良進歩を圖り世界の趨勢に順應せしむるは緊急一日も忽にすべからざるものと謂ふべし。而して現時本邦に於て航空機に關する學理的及實際的研究に従事する者尠しとせざるも未だ是等研究者間に意思の疏通を圖り研究上の連絡統一を期するの機關なきは極めて幼稚なる吾航空事業の進歩に對し頗る遺憾とする處なり。本所茲に見るあり曩に航空學談話會を設け官民各方面に於て航空機の研究試驗若くは製作に従事する者相會し毎週一回講演會を開催して各自研究の結果若くは經過を報告し或は歐米諸國に於て發表せられたる論文の要旨を紹介し之等に對し忌憚なき批評討論を試み疑義を正し意見を交換し因りて以て斯學研鑽の一助となすに努めしが今回更に其梗概を印刷に附して擴く大方同志に頒布することゝせり、若し之に由りて幾分斯業の進展に貢獻することを得ば獨り本所のみ幸に止まらざるなり

大正十一年二月

航空研究所長 寺野精一